

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	卵巣がんにおける IL-34 関連分子発現の解析
	研究目的	腫瘍組織中に浸潤するマクロファージは、腫瘍の増殖、悪性化、転移などに大いに関係している。本研究では、卵巣がんを対象に、2005 年～2010 年に当院で卵巣がんの切除術を受け、研究への包括的な同意を頂いている患者様の検体、データを使用し、マクロファージの分化誘導因子を始めとするサイトカインやその受容体遺伝子の発現を解析して、新規治療法の開発を目的とする
	研究期間	西暦 2018 年 4 月 27 日～西暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(血清) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	臨床研究所がん分子病態学部
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	滋賀医科大学腫瘍内科 / 東京大学医科学研究所抗体ワクチンセンター 教授 / 特任教授 醍醐弥太郎 北海道大学遺伝子病制御研究所 教授 清野研一郎